

中学部研究

令和7年2月6日

第3回全体研究会（実践報告会）

研究テーマ

情報活用能力に着目した授業づくり
～情報機器等の利用を含めた情報活用
能力の育成に必要な手立てを考える～

今年度の研究にあたって・・・

情報活用能力

教科を超えた学習の基盤となる資質・能力



中学部段階
「学習場面において情報機器を利用し、基本的な操作能力を育てる。」



情報機器利活用にとどまらない
授業実践の必要性

情報活用能力の捉えについて どの力に着目すべきか・・・？

定義が様々な文献等
で示されており、改め
て定義する必要性はあ
るか？

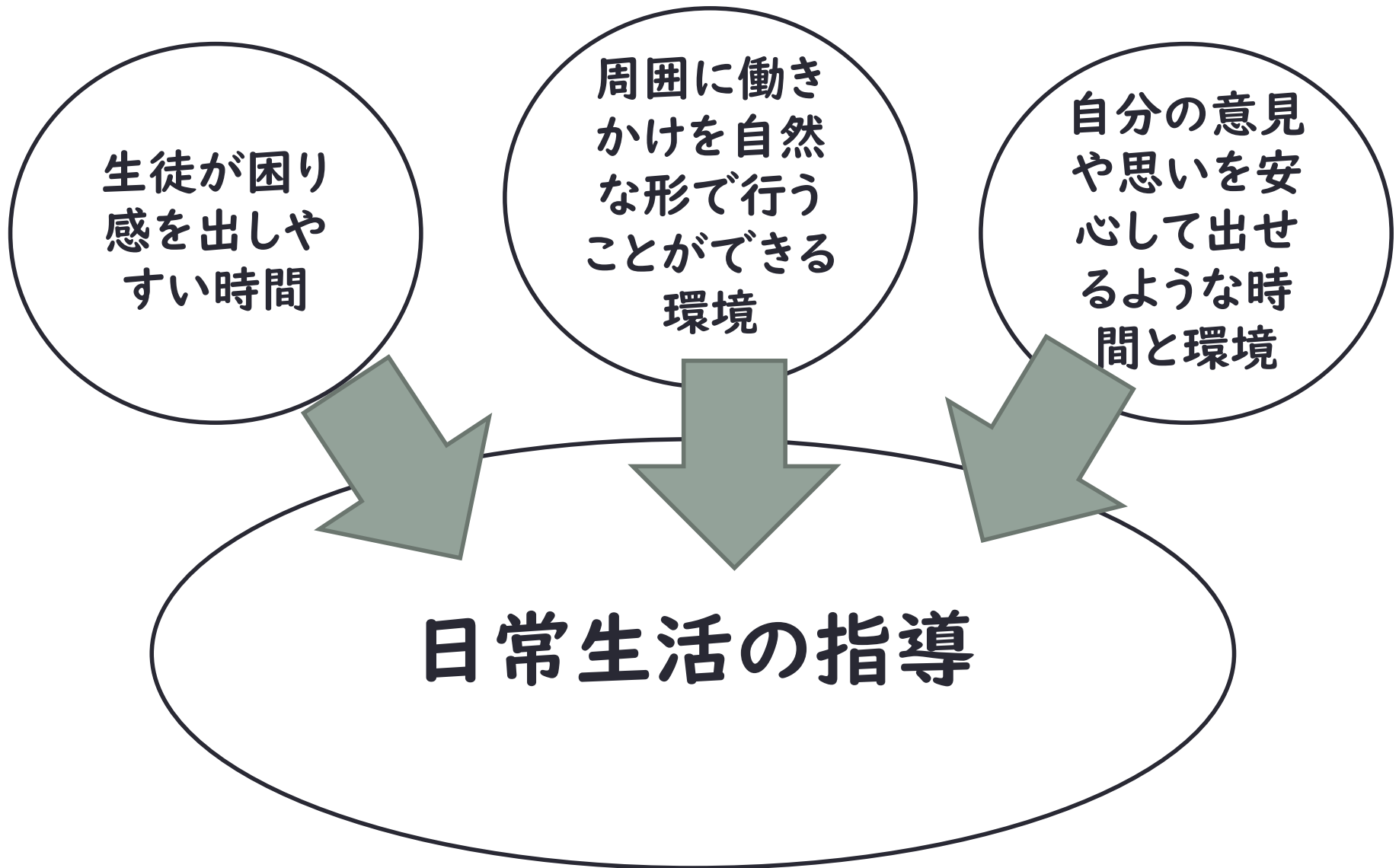
予測不能な社会を生き
ていくための力？

身の回りの情報から状
況判断していく力？

生徒が困ったときに活用で
きる情報機器の操作能力
を身に付ける

自分の思いを伝え
る手段としての情報
機器の活用

研究対象授業や指導場面



対象生徒①

中2 男子 難聴

発語がなく身振りサイン、筆談でのコミュニケーション
情報を周囲から得ようとする力の弱さ

自分が伝えたいことを伝えて満足している様子がある
インターネット検索、アプリ操作が身に付いている



2語文で他者へ伝えられ
るように
周囲への興味関心を高め
る
会話のやり取りを楽しいと
思える経験を重ねる

対象生徒②

中3 男子 知的障害

これまでの学習を実際の生活へ生かせるようになっている
書字、発語の難しさがあり、やりとりの中で「間」を怖がるような様子



みんなに共感してもらえる
うれしさを感じさせたい
自信をもたせ、自己肯定感を
高める
聞き返される経験を減らす
より豊かな言語でのやりとり

実践の経過（中2男子）

- ・実態を複数の目で
再確認
自分から動くことの
難しさ
- ・やりとりのパターン化

目標の再設定

- ・経験したことを言葉に
置き換える
- ・ICT機器は
補助手段として
- ・朝の会の流れに変化
をつける

ドロップタップの活用
「みんなのはなし」



実践の成果と課題（中2男子）

身振り、筆談での
やりとりの有効性
iPadでの授業中の発言
「伝えたい気持ち」の高まり



お互いの言いたいことが
正しく伝わっているか確認する
発話に限らない
発信方法の選択

実践の経過（中3男子）

Classnotebookを使い
話したいことを聞き取り
教師が入力

目標の再設定

メモアプリを使っの
音声入力
紙媒体での文章構成

発声の不明瞭さによる
誤入力を自ら手入力で
直す姿



実践の成果と課題（中3男子）

- ・情報機器の活用により困難さを克服する手助け
- ・自分自身が伝えたいことを自身が再確認でき、他者にもより分かりやすい方法で発信
- ・より豊かなやり取り



慣れている教師と友達との関係性の中でできることを違う場面でもできるようにすること

中学部研究 成果と課題

生徒の表現方法の選択肢を設定する。

「発信方法の選択肢を設定すること」さらに「発信する場面に応じ臨機応変に発信方法を選び、使っていく力を生徒につけさせること」



実践についての見取りの評価
情報活用能力の「どのように伸ばしたいか」、「どの力を伸ばしたいか」
を教師が明確に設定する

ご静聴ありがとうございました。

令和7年2月6日
第3回全体研究会（実践報告会）
中学部研究グループ